

州会議事堂 へようこそ



木造枠組みの元の議事堂、1909年頃

土地

入植以前のオリンピア周辺は湾岸地域のサリッシュ族の言葉で、「Cheetwoot（クロクマの場所）」として知られていました。入植が進むにつれてこの地域には様々な名前が付けられましたが、1850

年までにはオリンピアと呼ばれるようになりました。1853年にワシントンが準州となった直後、現在の議事堂キャンパスに木造枠組みの議事堂が建設されました。

議事堂グループ

1911年、ニューヨークの建築家であるWalter WilderとHarry Whiteが州会議事堂の設計をかけたコンペを勝ち取りました。5つの構成部分から成る「議事堂グループ」は、ビュージェット湾から1つの建物として見えるように設計されています。以降30年間をかけて、Temple of Justice（1912）、Insurance Building（1921）、Legislative Building（1928）、Cherberg Building（1937）、O'Brien Building（1940）が建設されました。

Legislative Building

レンガとコンクリートによるドームは自立組積造ドームとしては全米で最も高く、地上からキューポラの先端まで287フィートです。外装のサンドストーンはワシントン州ウィルクソンの砂岩採石場のものを使用しています。階段や巨大な基礎部の花崗岩はワシントン州インデックスから

のもので、ニューヨークのMaxfield Keckはこの建物の彫刻部分をサンドストーン、ブロンズ、石膏でデザインし、その大部分は優れた職人たちの手によって作成されました。照明器具の多くはTiffany Studiosが手掛けました。この完成以降、米国内の議事堂でこのような古典的なスタイルの建造物は立てられていません。



建設中のLegislative Building、1922～1928年

歴史概要

- 1853** ワシントンが米国準州となる。Isaac Stevensがワシントンの初代準州知事に指名される。
- 1855** 現在のLegislative Building近くに、木造の準州議会議事堂の建設が始まる。
- 1856** この建物が第4回準州立法議会開催時に完成する。40×68フィートの建造物で、州知事室、両院の議会室、委員会執務室、準州図書館を備える。
- 1889** 米国議会はワシントンが42番目の州となることを承認し、議事堂の建設に13万2千エーカーの土地を付与する。州印がオリンピアン住民である宝石商のCharles Talcottによって作成される。
- 1893** 新たな議事堂の建設に、ニューヨークの建築家のErnest Flaggが選出される。基礎が完成したものの、資金不足のために1894年に工事が中断される。使用されないまま30年近く経過する。
- 1901** 州が1892 Thurston County Courthouseを購入し、以降23年間議事堂として使用する。
- 1911** Capitol Campusの「グループコンセプト」について全国規模のコンペティションが開催される。ニューヨークの建築家であるWalter R. WilderとHarry K. Whiteの案が採用される。
- 1922** 現在のLegislative Buildingの地上建設が始まる。
- 1928** Legislative Buildingが完成。



ワシントン 州会議事堂

自由見学ツアー

公開時間*

平日：午前7:30～午後5:00
土日祝：午前11:00～午後4:00

ガイド付きツアー*

平日：午前10:00、11:00、12:00、午後1:00、2:00、3:00
土日祝：午前11時30分、午後0時30分、午後1時30分、午後2時30分
無料のガイド付きツアーは、正面入口近くの2階からスタートします。10名以上の団体の場合は、360-902-8880でご予約下さい。

その他の見どころ

Capitol Campusにはこの他にもGovernor's Mansion、Temple of Justice、記念像、公園など、様々な素晴らしい歴史的な見どころがあります。

*公開時間は議会開催期間、祝日、特別な祭事により変更される場合があります。見学を予定する際には、ウェブサイトをご確認ください。

連絡先

ビジターサービス

416 Sid Snyder Avenue SW, Olympia, WA 98504
360-902-8880 | tours@des.wa.gov
www.des.wa.gov/CapitolCampus



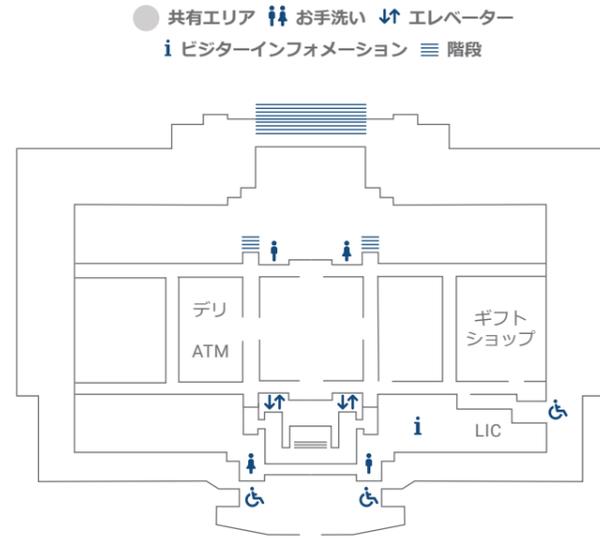
再利用のため、このガイドを正面入口のキオスクで返却することをご検討ください。ご協力ありがとうございます。



JAPANESE



地上階



ビジターサービスオフィス (i)

見学者にツアーやイベントを案内します。
111号室
360-902-8880 | tours@des.wa.gov
月曜～金曜：午前7:30～午後5:00 |
土日：午前11:00～午後4:00

立法情報センター (LIC, Legislative Information Center)

見学者に立法手続きやプロセスに関する公開情報を提供します。
110号室
360-786-7573 | www.leg.wa.gov
月曜～金曜：午前8:00～午後5:00 | 土日：休

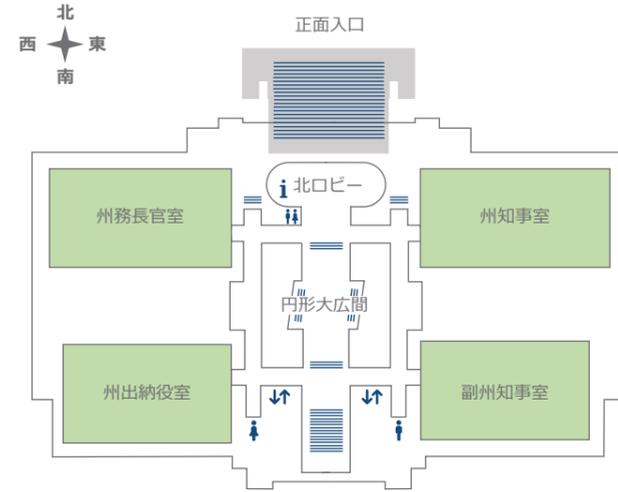
ギフトショップ

ワシントン州のお土産や特産品を販売します。
月曜～金曜：午前9:00～午後4:00 |
土日：午前11:00～午後4:00
360-782-1889 | giftcenter@leg.wa.gov

カフェ&デリ

朝食と昼食を提供します。
平日のみ営業。週末休業。
360-956-1639

2階



北ロビー/正面入口

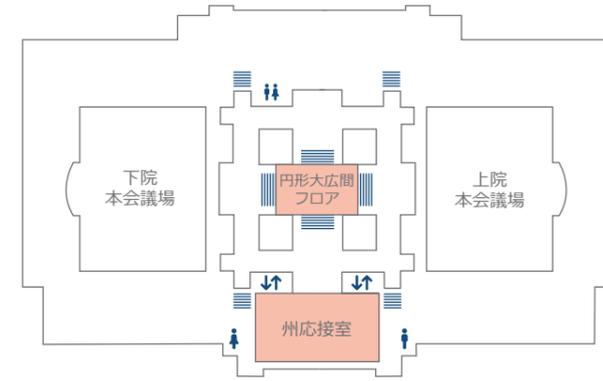
正面入口には青銅鑄物の大きな扉が6つあり、ワシントン州の初期産業や美しい景色のレリーフが刻まれています。内側には2つの彫像があります。その1つは、訓練を受けた医師であり、アメリカへの入植者をワシントン州へ導いた伝道師でもある**Marcus Whitman**の像です。2つ目は、北西部で多くの病院、孤児院、学校の建設に尽力した**Mother Joseph**のもので、共用廊下と円形大広間は**アラスカ産の大理石**で覆われています。

4つの執務室

2階には州知事室、副州知事室、州務長官室、州出納役室があります。月曜～金曜の午前8時～午後5時に見学できます。州知事室には**ワシントン州憲法のレプリカ**（左の写真）があり、見学する価値のある特別な展示が行われることがよくあります。



3階



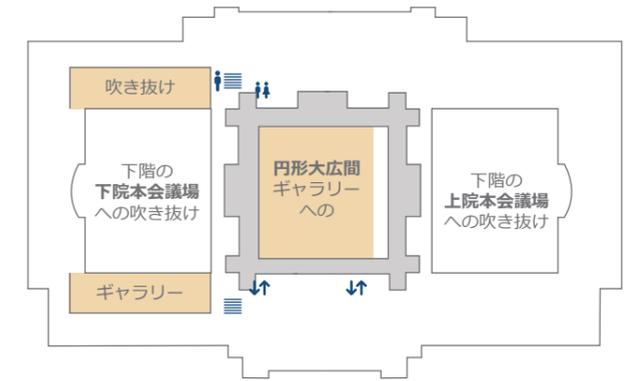
円形大広間フロア (2階と3階の間)

円形大広間の天井から101フィートのチェーンで吊るされた壮大な**5トンのブロンズのシャンデリア**には、200個以上の電球が取り付けられています。ニューヨークのTiffany Studiosのアーティストが手掛けた最大のシャンデリアであり、東部から鉄道で運ばれ、建設の最終段階の1928年に円形大広間で組み立てと設置が行われました。円形大広間の四隅に配された**4つの彫像ランプ**もTiffany Studiosによるものです。このフロアの中心部には、**州印**が埋め込まれています。この印は、この建物全体の手すり、ドアノブ、家具、カーテンなどに装飾として幅広く使用されています。

州応接室

この州応接室には**イタリア産のプレッシュ・ビオレット大理石**が使用されています。この部屋は州の正式な式典、応接、会議などに使用されます。Tiffanyのシャンデリア、**豊かなベルベットのカーテン**、色鮮やかなカーペットがこの式典にふさわしい室内の緻密な装飾を完成させています。最初に使用されたカーペットはニューヨークのMohawk Companyによるもので、設置当時は世界最大一枚の織カーペットでした。カーペットはバハマ産のチーク材を使用した特別なヘリンボーンデザインフロアを保護していますが、州知事の就任舞踏会などのイベントでは外されることもあります。**巨大な円卓**の土台は、ニューヨークのSlone Furniture Companyが一塊のチェルケス地方産ウォルナット材から削り出したものです。

4階



立法ギャラリー

ギャラリーは月曜～金曜の午前10時～午後4時、立法手続きの進行時に公開されます。ワシントン州議員は毎年通常1月から議会に招集されます。立法会議は奇数年は105日間、偶数年は60日間続きます。

下院本会議場

ワシントン州の98名の下院議員は2年の任期で選出されます。下院議員はその中から下院の議長となるリーダーを選出します。演壇上部の壁の高い部分には、3つの得票ボードが掲示されます。採決の際には、2つの外側のボードには議員の苗字、中央のボードには法案の名称が表示されます。議員の苗字は、法案が可決されると緑色、否決されると赤色に変わります。採決の終了時に、中央のボードには最終的な得票数が表示されます。下院本会議場には**フランス産のエスカレット大理石**と**ウォルナット材のデスク**が使用されています。

上院本会議場

49名の上院議員は時期をずらして4年間の任期を務めます。4年毎に一般選挙で選ばれた副州知事が上院の議長を務めます。採決では、議員は名前が呼ばれたら、それぞれ口頭で投票の意向を答えます。上院本会議場には、**ドイツ産のフェルモサ大理石**と**マホガニー材のデスク**が使用されています。